



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956 URL <http://www.bond.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大丸 智夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役社長室室長

(氏名) 東郷 正人

TEL 06-6228-2877

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	48,119	△0.0	2,139	5.6	2,094	6.1	923	△13.6
23年3月期第2四半期	48,129	9.7	2,025	49.8	1,974	57.6	1,068	54.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 650百万円 (△23.9%) 23年3月期第2四半期 855百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	46.85	—
23年3月期第2四半期	54.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	66,864	36,953	52.7
23年3月期	67,032	36,603	52.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 35,261百万円 23年3月期 34,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
24年3月期	—	12.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年3月期の期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 創業140周年記念配当 4円00銭

24年3月期の第2四半期末配当は予想であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,800	2.1	5,260	5.0	5,200	6.4	2,590	△5.7	131.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	20,353,720 株	23年3月期	20,353,720 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	653,000 株	23年3月期	652,972 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	19,700,736 株	23年3月期2Q	19,705,419 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P.2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P.2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P.3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P.4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P.4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P.4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	P.5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P.7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P.9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P.10
(5) セグメント情報等	P.10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P.10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により国内景気は一時的に落ち込みましたが、サプライチェーンの急速な復旧に伴い生産が回復に向かい、個人消費もやや持ち直しの動きがみられました。しかし、欧米を中心に海外経済の減速懸念や円高の進行など先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの関連業界では、住宅業界においては供給制約の影響が徐々に薄れ、震災後に落ち込んだ住宅投資が持ち直し、新設住宅着工戸数が前年比プラスに転じました。土木建築業界においては東日本にて復興需要による復旧、補修工事が徐々に進み、遅れがみられました土木工事も秋口ごろより徐々に進み始めました。また、電子・電機業界においてはスマートフォンやタブレット端末などの需要が拡大しましたが、パソコンや液晶テレビの販売が一段落し在庫調整の影響もあり低調に推移しました。自動車業界においてはサプライチェーンの復旧と在庫の復元が急速に進み、生産の回復基調が明確になりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、取引先との連携を密にして震災の影響に対処するとともに、本年4月よりスタートしました中期経営計画の基本戦略のもと、コア事業での確固たる地位の確立に努め、土木建築・産業資材・海外事業の拡充に着手しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高481億19百万円（前期比0.0%減）、営業利益21億39百万円（前期比5.6%増）、経常利益20億94百万円（前期比6.1%増）、特別損失として固定資産処分損2億75百万円が発生したため、四半期純利益9億23百万円（前期比13.6%減）となりました。

セグメントごとの概況は、次のとおりであります。

ボンド事業部門

住宅関連においては、新設住宅着工戸数の増加や復旧資材として補修関連の接着剤・シーリング材の需要が高まり、床用ウレタン系接着剤および一般住宅用シーリング材、サンライズ・エム・エス・アイ(株)の主力である戸建て用シーリング材が順調に推移しました。工業用関連においては、震災によるサプライチェーンの寸断や在庫調整の影響から徐々に需要を盛り返しつつありましたが、工場生産用接着剤は微増にとどまりました。自動車シール材や離型剤は、自動車業界のサプライチェーンの寸断による生産活動低下の影響を受け、前年水準を大きく下回りました。土木建築業界においては、被災地の本格的復興は遅れているものの建築改修・補修工事が徐々に進み、工外用接着剤は順調に推移しました。ビル建設用シーリング材は安定的な供給体制を背景に建築改修・補修工事が増加し、好調に推移しました。一般消費者関連においては、個人消費マインドの低下により厳しい環境下にありましたが、補修材の需要が高く、一般家庭用接着剤は堅調に推移しました。

以上の結果、売上高224億82百万円（前期比5.1%増）、営業利益18億84百万円（前期比8.1%増）となりました。

化成品事業部門

化学工業向けにおいては、震災により仕入に影響を受けたものの、新規採用の増加および原材料高騰による価格安定により、堅調に推移しました。塗料業界向けにおいては、震災の影響による在庫・生産調整と取引先の業績低下により、低調に推移しました。電子・電機業界向けにおいては、取引先の被災による供給制約の影響が大きく響き、液晶関連材料の低迷が続きました。丸安産業(株)の主力である電材は好調に推移しましたが、薄膜材料が第2四半期より在庫・生産調整に入り低迷し、前年水準を下回りました。自動車業界向けにおいては、サプライチェーンの復旧と在庫の復元が急速に進み、電子部品関連基材も回復基調に転じましたが、若干前年水準を下回りました。

以上の結果、売上高233億26百万円（前期比5.4%減）、営業利益2億45百万円（前期比4.4%減）となりました。

その他

工事請負事業（土木建築工事業）においては、改修補強・耐震補強工事等の受注に遅れが見られておりましたが、7月以降大きく改善され、前年水準を上回りました。化学品データベース事業においては、企業の投資マインド回復と海外も含めた化学物質管理の重要性からシステムの販売が順調に推移しました。塗料事業においては、プラスチック用・レジャー関連用途向けが堅調に推移しました。

以上の結果、売上高23億10百万円（前期比11.7%増）、工事請負事業において売上総利益率が低下したことが影響し、営業利益12百万円（前期比63.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ1億67百万円減少し、668億64百万円となりました。その主な要因は、商品及び製品が10億円、未成工事支出金が4億76百万円、土地が3億91百万円増加したものの、現金及び預金が5億34百万円、受取手形及び売掛金が15億55百万円減少したこと等によるものです。また、負債は前期末に比べ5億18百万円減少し、299億10百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が4億82百万円、長期借入金金が1億円減少したこと等によるものです。純資産は前期末に比べ3億50百万円増加し、369億53百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が2億72百万円減少したものの、利益剰余金が6億47百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、126億94百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、14億14百万円となりました。これは、法人税等の支払額が11億69百万円、たな卸資産の増加額が15億28百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が17億88百万円、売上債権の減少額が15億56百万円あったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、14億43百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が10億65百万円、無形固定資産の取得による支出が3億24百万円あったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、4億33百万円となりました。これは、長期借入金の返済による支出が1億円、配当金の支払額が2億75百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、欧米を中心に海外経済の減速や円高の進行など懸念材料があるものの、国内景気は復興需要に伴う設備投資の増加や補正予算による公共投資押し上げ効果も予測され、回復基調は緩やかに持続するものと予想されます。

こうした中、ボンド事業部門では、住宅業界においては震災後に落ち込んだ住宅投資の持ち直しにより堅調に推移するものと予測され、土木建築業界においては復興需要による建築改修・補修工事が進み順調に推移するものと予想されます。また、化成品事業部門では、自動車業界においては生産の回復が進み、電子部品関連基材が好調に推移するものと予測されますが、電子・電機業界向けにおける取引先の被災による供給制約の影響が大きく、厳しい状況が続くことが予想されます。

これにより通期連結業績予想および個別業績予想を以下の通り修正いたします。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 104,500	百万円 4,740	百万円 4,690	百万円 2,510	円 銭 127.41
今回修正予想(B)	102,800	5,260	5,200	2,590	131.47
増減額(B-A)	1,700	520	510	80	-
増減率(%)	1.6	11.0	10.9	3.2	-
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	100,666	5,009	4,885	2,746	139.37

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 79,200	百万円 3,430	百万円 3,550	百万円 2,100	円 銭 106.59
今回修正予想(B)	77,700	3,650	3,770	2,080	105.58
増減額(B-A)	1,500	220	220	20	-
増減率(%)	1.9	6.4	6.2	1.0	-
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	75,784	3,449	3,540	2,216	112.49

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,233	12,699
受取手形及び売掛金	31,411	29,855
商品及び製品	3,799	4,799
仕掛品	169	212
原材料及び貯蔵品	752	745
未成工事支出金	208	684
その他	1,086	1,182
貸倒引当金	123	114
流動資産合計	50,537	50,065
固定資産		
有形固定資産	10,843	11,125
無形固定資産	426	962
投資その他の資産		
投資有価証券	3,590	3,123
その他	1,726	1,668
貸倒引当金	92	81
投資その他の資産合計	5,223	4,710
固定資産合計	16,494	16,798
資産合計	67,032	66,864

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,663	21,692
短期借入金	355	336
未払法人税等	1,189	707
賞与引当金	863	864
役員賞与引当金	81	24
その他	1,982	2,364
流動負債合計	26,136	25,990
固定負債		
長期借入金	100	-
退職給付引当金	757	773
役員退職慰労引当金	597	531
その他	2,838	2,615
固定負債合計	4,293	3,920
負債合計	30,429	29,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,603	4,603
資本剰余金	4,182	4,182
利益剰余金	26,371	27,018
自己株式	621	621
株主資本合計	34,536	35,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	183
為替換算調整勘定	74	105
その他の包括利益累計額合計	381	77
少数株主持分	1,684	1,692
純資産合計	36,603	36,953
負債純資産合計	67,032	66,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	48,129	48,119
売上原価	40,076	39,930
売上総利益	8,053	8,189
販売費及び一般管理費	6,027	6,050
営業利益	2,025	2,139
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	37	49
貸倒引当金戻入額	-	24
その他	72	54
営業外収益合計	114	135
営業外費用		
支払利息	13	11
売上割引	73	77
為替差損	63	49
持分法による投資損失	-	1
その他	15	39
営業外費用合計	165	180
経常利益	1,974	2,094
特別利益		
固定資産売却益	-	0
貸倒引当金戻入額	64	-
投資有価証券売却益	1	-
その他	0	-
特別利益合計	67	0
特別損失		
固定資産処分損	3	275
投資有価証券評価損	13	20
投資有価証券売却損	0	1
役員退職慰労金	5	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13	-
その他	2	5
特別損失合計	37	306
税金等調整前四半期純利益	2,003	1,788
法人税、住民税及び事業税	732	708
法人税等調整額	129	75
法人税等合計	861	783
少数株主損益調整前四半期純利益	1,141	1,004
少数株主利益	73	81
四半期純利益	1,068	923

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,141	1,004
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	234	304
為替換算調整勘定	51	47
持分法適用会社に対する持分相当額	-	1
その他の包括利益合計	286	354
四半期包括利益	855	650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	817	619
少数株主に係る四半期包括利益	38	31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,003	1,788
減価償却費	536	506
投資有価証券評価損益(は益)	13	20
投資有価証券売却損益(は益)	1	1
有形固定資産処分損益(は益)	2	162
有形固定資産売却損益(は益)	0	0
貸倒引当金の増減額(は減少)	151	20
賞与引当金の増減額(は減少)	21	1
役員賞与引当金の増減額(は減少)	36	56
退職給付引当金の増減額(は減少)	42	16
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	0	66
受取利息及び受取配当金	42	56
支払利息	13	11
持分法による投資損益(は益)	-	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13	-
売上債権の増減額(は増加)	751	1,556
たな卸資産の増減額(は増加)	1,102	1,528
仕入債務の増減額(は減少)	666	32
その他	166	166
小計	2,809	2,537
利息及び配当金の受取額	43	56
利息の支払額	13	10
法人税等の支払額	1,349	1,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,489	1,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	206	6
定期預金の払戻による収入	8	18
有形固定資産の取得による支出	343	1,065
有形固定資産の売却による収入	19	0
無形固定資産の取得による支出	99	324
投資有価証券の取得による支出	24	68
投資有価証券の売却による収入	6	5
その他	12	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	628	1,443
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	335	20
長期借入金の返済による支出	15	100
リース債務の返済による支出	12	13
配当金の支払額	200	275
少数株主への配当金の支払額	17	23
自己株式の取得による支出	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	582	433
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	59
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	208	522
現金及び現金同等物の期首残高	11,745	13,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,953	12,694

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ボンド事業部門	化成事業部門	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	21,393	24,668	46,061	2,067	48,129	-	48,129
セグメント間の内部売上高 又は振替高	235	154	390	29	419	419	-
計	21,629	24,822	46,452	2,096	48,549	419	48,129
セグメント利益	1,743	257	2,000	34	2,035	10	2,025

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料、工事請負、化学品データベースおよび不動産賃貸の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ボンド事業部門	化成事業部門	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	22,482	23,326	45,809	2,310	48,119	-	48,119
セグメント間の内部売上高 又は振替高	212	160	373	28	401	401	-
計	22,695	23,487	46,182	2,338	48,521	401	48,119
セグメント利益	1,884	245	2,130	12	2,143	4	2,139

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料、工事請負、化学品データベースおよび不動産賃貸の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成24年3月期第2四半期決算参考資料



1. 業績および業績予想

(単位：百万円)

		平成23年3月期	平成24年3月期			
		通期	第2四半期実績	通期予想(修正)	増減	増減率
売上高	連結	100,666	48,119	102,800	2,134	2.1%
	単独	75,784	37,025	77,700	1,916	2.5%
営業利益	連結	5,009	2,139	5,260	251	5.0%
	単独	3,449	1,619	3,650	201	5.8%
経常利益	連結	4,885	2,094	5,200	315	6.4%
	単独	3,540	1,759	3,770	230	6.5%
当期純利益	連結	2,746	923	2,590	△156	△5.7%
	単独	2,216	912	2,080	△136	△6.2%

2. セグメント別業績および業績予想

(単位：百万円)

		平成23年3月期	平成24年3月期			
		通期	第2四半期実績	通期予想(修正)	増減	増減率
ボンド事業部門	売上高	45,295	22,482	47,200	1,905	4.2%
	営業利益	4,161	1,884	4,310	149	3.6%
化成品事業部門	売上高	48,313	23,326	48,300	△13	△0.0%
	営業利益	377	245	570	193	51.0%
その他部門	売上高	7,058	2,310	7,300	242	3.4%
	営業利益	463	12	380	△83	△18.0%
消去	売上高	—	—	—	—	—
	営業利益	7	△4	—	—	—
合計	売上高	100,666	48,119	102,800	2,134	2.1%
	営業利益	5,009	2,139	5,260	251	5.0%

3. 指標

(単位：百万円)

		平成23年3月期	平成24年3月期予想		
		通期	通期	増減	増減率
設備投資額	連結	1,128	2,365	1,237	109.7%
	単独	892	2,094	1,202	134.8%
減価償却費	連結	1,094	1,194	100	9.1%
	単独	805	855	50	6.2%
研究開発費	連結	1,561	1,514	△47	△3.0%
	単独	1,347	1,302	△45	△3.3%

(注1) 百万円未満の金額は切り捨てて表示しております。

(注2) 増減(増減率)については対前年同期比で表示しております。